



# 「大学等におけるフルタイム換算データに関する調査」調査票

[教員用]

令和5年6月1日現在

資料3-2  
令和5年度「大学等におけるフルタイム換算データに関する調査」調査項目等に関する検討会  
R4. 11. 10

文部科学省 科学技術・学術政策局

この調査票は、統計以外の目的に使用しませんので、ありのままを記入してください。

記入の際には「調査票の記入の手引き」を参照してください。

※凡例: **入力箇所**

**条件付入力箇所**

0 回答者ID番号(「大学等におけるフルタイム換算データに関する調査への御協力のお願い」に記載されている9桁の番号を記入してください)			
1 勤務先(本務)の名称	(学校名等)	(学部・学科名等)	
2 令和5年3月31日時点の勤務先(本務) (該当する番号を一つ選択してください。他の大学等の場合、勤務先の名称を記入してください)			
1 現在と同じ 2 他 <sup>↓</sup> の大学等 3 公的機関 4 非営利団体 5 企業 6 外国の機関 7 その他(無職等)			
	(学校名等)	(学部・学科名等)	

質問2の回答が「3~7」の方はここで終了です。ありがとうございました。

以下の質問は、令和5年(2023年)3月31日時点での状況についてです。

3 職名(本務) (該当する番号を一つ選択してください)	1 教授 2 准教授 3 講師 4 助教 5 助手		
4 雇用上の職務の範囲 (該当する番号を一つ選択してください) ・実際の活動状況に関わらず、雇用上の職務の範囲に基づいて回答してください。	1 教育と研究の両方が明示的に職務に含まれる 2 原則として教育のみが職務(教育専任教員) 3 原則として研究のみが職務(研究専任教員) 4 教育・研究以外の特定の職務の専任 5 その他		
5 本務における任期の有無 (該当する番号を一つ選択してください)。「2 任期有り(テニュアトラック制)ないし」「3 任期有り(テニュアトラック制以外)」の場合、任期を年数で記入してください。 ・任期については、現時点の契約上、最大の年数を回答してください。	1 任期無し(期限を定めない雇用) 2 任期有り(テニュアトラック制) 3 任期有り(テニュアトラック制以外) [任期(現時点の契約上、最大の年数): 年]		
6 令和4年度の勤務における、研究時間に影響を及ぼす特殊な状況 (該当する番号の左側に○を記入してください。「1~5」については複数回答可)	1 学外での兼務をしていた	2 サバティカル研修(制度)を利用していた	3 病気休暇等、長期の休暇を連続して20日以上取得していた
	4 学長・副学長、学部長・研究科長等、大学の運営に関わる特定の役職に就いていた	5 その他の研究時間に影響を及ぼす特殊な状況にあった	6 1~5のような特殊な状況にはなかった
7 職歴 (現職(2023年3月31日時点)も含め、今までに勤務した本務機関数を記入してください)(複数回答可)	1 大学等 (うち外国 機関)	2 公的機関 (うち外国 機関)	3 非営利団体 (うち外国 機関)
	4 企業 (うち外国 機関)		
8 国籍 (該当する番号を選択し、外国の場合は国名も記入してください)	1 日本 2 外国 → [(国名) ]		
9 生年月(西暦で記入してください)	19 年 月		
10 性別(該当する番号を一つ選択してください)	1 男性 2 女性		
11 最終学位 (該当する番号を一つ選択してください)	1 学士 2 修士 3 博士 4 博士課程満期退学・単位取得退学 5 専門職学位(法務博士・専門職修士) 6 その他 - [ ]		
12 あなたの専門分野 (最もあてはまる番号を一つ選択してください)	1 人文科学	5 理学(理論系)	11 医学(基礎系・社会系)
	2 法学・政治	6 理学(実験系)	12 医学(臨床系)
	3 商学・経済	7 工学	13 歯学(基礎系・社会系)
	4 その他(2と3以外)の社会科学(社会学を含む)	8 農学(9および10を除く)	14 歯学(臨床系)
		9 農業工学	15 薬学
		10 農業経済	16 その他(11~15以外)の保健
			17 家政
			18 教育
			19 芸術
			20 その他

次ページへ続きます。

以下の質問は、令和4年度(2022年4月1日～2023年3月31日)の状況についてです。

13 令和4年度における区分別の週数及び休日数

(令和4年度の全52週を下記の(a1), (a2), (b)の3つの区分に分類し、それぞれの週数及び職務を行わない日数を記入してください。)  
 ・職務を行わない日が二週間に3日間ある場合は一週間あたり1.5日として、小数まで記入してください。

(a) 学生の休暇期間以外の期間		左記の期間の週数	合計52週	左記の期間の平均的な一週間で職務を行わない日数(土日等)
(a1) あなたが授業を行う期間		週		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(残り 52 週)</div>
(a2) あなたが授業を行わない期間		週	日	
(b) 学生の休暇期間		週	日	

14 令和4年度の各期間における職務を行う平均的な1日の時間数

(質問13の各区分における平均的な1日の時間数を記入してください。)  
 ・質問13で0週となった期間は空欄にしてください。  
 ・活動時間が分単位になる場合は、30分を0.5時間として小数まで記入してください。  
 ・教育活動、研究活動、社会サービス活動、その他の職務活動(学内事務等)の総和が同じ日の合計職務時間になるよう記入してください。

(a) 学生の休暇期間以外の期間	左記の期間の平均的な1日における時間数							合計職務時間
	教育活動	研究活動	社会サービス活動			その他の職務活動(学内事務等)		
			教育関連	研究関連	その他(診療活動等)			
(a1) あなたが授業を行う期間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	
(a2) あなたが授業を行わない期間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	
(b) 学生の休暇期間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	

○ 令和4年度における大学教員として担当した授業・講義数

(質問14の(a1)「教育活動」における平均的な1週間の授業・講義数を記入してください。)  
 ・90分を単位(1コマ)として記入してください。  
 ・小数点が必要な場合は、1/2刻みで記入してください。(ex. 2.5コマ)

平均的な1週間の授業・講義数:  コマ/週

15 令和4年度における個人又は研究代表者として得た研究資金の金額

(該当する番号を選択し、金額を万円単位で、四捨五入して記入してください。)  
 ・直接経費のみを記入してください。  
 ・複数年にわたる研究資金について、令和4年度のコマが確定していない場合は、その金額を案分して、1年当たりの金額を記入してください。  
 ・他機関の研究分担者に研究資金を振り分けている場合は、その資金を除いてください。

(a) 内部資金		1 なし	2 ある	万円
(b) 外部資金		1 なし	2 ある	万円
(c) うち競争的資金		1 なし	2 ある	万円

16 令和4年度における競争的資金等、外部研究資金の獲得に必要な業務

(質問14の各区分における「研究活動」に含まれる時間として記入してください。)

競争的資金等、外部研究資金獲得や獲得後の報告等のための事務手続に費やしている年間の平均的な日数:  日  
 その期間における平均的な1日の書類作成時間:  時間

次ページへ続きます。

○ 令和4年度における個人又は研究室の業務を補助する支援スタッフ  
(個人における質問14の各時間を補う作業、業務を行う以下支援者について、それぞれの人数を記入してください。)  
・令和5年3月31日時点の情報を記入してください。

1 修士課程学生	<input type="text"/>	人	2 博士課程学生	<input type="text"/>	人	3 ポスドク、その他の研究者	<input type="text"/>	人
4 URA	<input type="text"/>	人	5 技術職員	<input type="text"/>	人	6 事務スタッフ(秘書も含む)	<input type="text"/>	人

上記で研究を補助する支援スタッフがいると回答した場合  
(それぞれの支援スタッフについて、**1週間**の平均的な補助時間を記入してください。)  
・各項目に複数いる場合は、それらを合計した時間を記入ください。

1 修士課程学生	<input type="text"/>	時間/週	2 博士課程学生	<input type="text"/>	時間/週	3 ポスドク、その他の研究者	<input type="text"/>	時間/週
4 URA	<input type="text"/>	時間/週	5 技術職員	<input type="text"/>	時間/週	6 事務スタッフ(秘書も含む)	<input type="text"/>	時間/週

○ 学会に関する事務作業に係る時間  
(質問14の「社会サービス活動(研究関連)」に占める、**1年間**の学会の**運営等**に係る時間について記入してください。)  
・**学会発表のための**質問14の「研究活動」に係る時間は含めないでください。

学会のための事務作業に費やしている年間の平均的な時間:  時間/年

○ 定常的に参加している大学内の会議  
(質問14の「その他の職務活動」に占める、**1ヶ月**の平均的な学内会議の参加時間について記入してください。)

参加している1ヶ月の平均的な学内会議の時間:  時間/月

そのうち、オンラインでの会議の時間:  時間

17 過去3年間(令和2年6月1日～令和5年5月31日)における論文成果  
(論文の掲載が決定した時点の回数を記入してください。)

過去3年間における査読付きの論文数(日本語):  件 過去3年間における査読付きの論文数(外国語):  件

○(案1)新型コロナウイルス(COVID-19)が、質問14の「研究活動」における時間に与えた影響

(コロナ禍前と比較してどの程度影響があったか、以下の5つの選択肢から回答してください。)  
・プラスの影響は研究時間の増加に繋がった、マイナスの影響は研究時間の減少に繋がったことを指します。

回答:

1 大きなマイナスの影響あり 2 ややマイナスの影響あり 3 影響なし 4 ややプラスの影響あり 5 大きなプラスの影響あり 6 該当しない・わからない

○(案2)新型コロナウイルス(COVID-19)が、質問14の「研究活動」における時間に与えた影響

(コロナ禍前における研究時間(質問14における「研究活動」に係る時間)を10とすると、現在(令和4年度)の研究時間はいくつになるか記入してください。)  
・1年間単位でお考え下さい。

令和4年度における研究活動時間(コロナ禍前を10とする):

○(案3)新型コロナウイルス(COVID-19)が、各研究活動の時間に与えた影響

(コロナ禍前と比較して各項目に係る時間においてどの程度影響があったか、以下の5つの選択肢から回答してください。)  
・プラスの影響は研究時間の増加に繋がった、マイナスの影響は研究時間の減少に繋がったことを指します。

1 研究に関する情報・資料の収集、文献調査  
(研究に直接関係しない個人的な学習、趣味としての読書等は除く)

2 研究に関する試作・実験・集計・分析

1 大きなマイナスの影響あり 2 ややマイナスの影響あり 3 影響なし 4 ややプラスの影響あり 5 大きなプラスの影響あり 6 該当しない・わからない

○(案4)新型コロナウイルス(COVID-19)が、質問14の各時間における時間に与えた影響

(案1)、(案2)パターンを想定

次ページへ続きます。

18 あなたの研究パフォーマンスに関する見解

あなたの研究パフォーマンスを高める上で、以下の4つの要素について、どの程度制約と考えているか記入してください。(該当する番号を記入してください)

研究人材:  1 非常に強い制約となっている 2 強い制約となっている 3 どちらとも言えない 4 あまり制約にはなっていない 5 全く制約ではない

1又は2を選択した場合、研究人材の面であなたの研究パフォーマンスに最も制約になっていると考えていることについて、上位2つまで番号を選択してください。

- 1 修士課程や博士課程学生の不足 2 若手研究者(ポスドク)の不足 3 その他の共同研究者の不足 4 その他(自由記入欄に記入してください)

1位

2位

自由記入欄 [  ]

研究時間:  1 非常に強い制約となっている 2 強い制約となっている 3 どちらとも言えない 4 あまり制約にはなっていない 5 全く制約ではない

1又は2を選択した場合、研究時間の面であなたの研究パフォーマンスに最も制約になっていると考えていることについて、上位2つまで番号を選択してください。

- 1 教育専任教員の不足などによる過重な教育負担 2 大学運営業務(教授会など学内会議への参加及びそれらに伴う業務等)  
3 競争的資金等、外部研究資金獲得や獲得後の報告等のための事務手続き 4 研究プロジェクトにおけるリーダーとしてのマネジメント業務  
5 学内事務手続(備品購入手続、施設使用申請、出張手続等) 6 事務従事者の不足 7 官公庁等からの業務(評価・調査等)  
8 その他(自由記入欄に記入してください)

1位

2位

自由記入欄 [  ]

研究環境:  1 非常に強い制約となっている 2 強い制約となっている 3 どちらとも言えない 4 あまり制約にはなっていない 5 全く制約ではない

1又は2を選択した場合、研究環境の面であなたの研究パフォーマンスに最も制約になっていると考えていることについて、上位2つまで番号を選択してください。

- 1 実験装置、大型コンピューターなど研究機器の利用可能性 2 研究スペースの不足 3 研究試料、実験動物、データベースなどの確保が困難  
4 研究機器、研究試料等を活用、維持するための研究補助者、技能者の不足 5 URA等研究支援人材の不足 6 その他(自由記入欄に記入してください)

1位

2位

自由記入欄 [  ]

研究資金:  1 非常に強い制約となっている 2 強い制約となっている 3 どちらとも言えない 4 あまり制約にはなっていない 5 全く制約ではない

1又は2を選択した場合、研究資金の面であなたの研究パフォーマンスに最も制約になっていると考えていることについて、上位2つまで番号を選択してください。

- 1 基盤的経費の不足 2 競争的資金等、外部研究資金の確保が困難 3 競争的資金等、外部研究資金の継続性の無さ  
4 競争的資金等、外部研究資金の用途が限定されていること 5 その他(自由記入欄に記入してください)

1位

2位

自由記入欄 [  ]

本調査にご回答いただきまして、誠にありがとうございました。